

Portfolio for Jira & Jira Align

アトラシアン製の2つのソリューションを確認して、大規模アジャイルへの道を加速しましょう

Portfolio for Jira と Jira Align では両方とも、作業の可視化、将来の計画、進捗状況の追跡が可能です。どちらも作業を記録するためのチームレベルのシステムとして Jira を使用しますが、チームレベルを超えた異なる機能セットを提供します。違いを理解したうえで、どちらがビジネスに適しているかをご判断ください。

Portfolio for Jira

現実的なロードマップを作成して長期的なアジャイル計画を実行し、Jira Software で実施されている作業の最新情報を関係者に提供します。

Jira Align

Jira Align によって、可視性、戦略的整合性、ビジネスの俊敏性を向上させてデジタル変革を加速できます。



作業を可視化する

個々のチーム、プロジェクト、製品全体を一目で把握するにはどうしたらよいでしょうか？

Jira データによって、チームとプロジェクト全体の作業を可視化する計画を立てます。Portfolio for Jira 計画のロードマップビューでは、基盤となる Jira データに基づいてインライン タイムラインを作成できます。ロードマップによってさらに情報を掘り下げて、戦略的な意思決定を通知できます。

チーム内の個人から組織のポートフォリオレベルや経営幹部レベルに至るまで、あらゆるレベル全体で作業を可視化できます。進行中の作業がリーダーシップの戦略的な方向性にどのように結びつくかを簡単に確認して、数百ものチームが取り組んでいる作業のリアルタイムの概観、そのステータス、全体的な進捗をすぐに把握できます。



作業を計画する

ビジネスの複数のレベル全体で作業を計画して、作業に取り組む前に実行する必要がある作業と実行可能な作業量を把握するには、どうしたらよいでしょうか？

Jira に変更をコミットして進行中の計画を設定する前に、チームのキャパシティ、作業項目間の依存関係、主要なマイルストーンのタイミングをリリース (Jira の修正バージョン) という形で組み入れます。計画は期間ごとに実行できます。スプリントやイテレーションごと、またはチームの計画範囲に応じて拡張できます。

ビジネスの戦略的な方向性を効果的に遂行します。カンバンとプログラムの各ボードによって、四半期と年次のポートフォリオとプログラム計画、製品レベルにおける計画のロードマップ、チームレベルの実行を効率化するためのキャパシティ予測が促進されます。

進捗の追跡

作業の進捗状況、さまざまなレベルにおける項目の状態、作業完了時期の予測、作業がスケジュールから外れていないかどうかの徴候を確認するには、どうしたらよいでしょうか？

個々の作業項目、スプリント/イテレーション、またはリリース全体で、個人またはチームレベルで作業の進捗を追跡します。迅速な計画調整、新しいリスクの管理、リリーススケジュールの確認を、1か所で実行できます。

スプリントにおけるチーム内の個人からポートフォリオにおける新機能のリリースに至るまで、複数のレベルで作業の進捗を追跡します。迅速な計画調整、新しいリスクの管理、リリーススケジュールの確認、成功指標の追跡を、1か所で実行できます。

依存関係を管理

自分に関連する組織の異なるレベルで、特に1つの項目が別の項目の完了に依存する際に作業が他の作業にどのように関連しているかを確認するには、どうしたらよいでしょうか？

複数のチームとプロジェクトにわたる作業項目間の依存関係、さらにはポートフォリオ計画以外の依存関係を、ロードマップ上で直接作成して確認します。競合が発生する時期を明確に確認して、依存する課題間の変化が下流の作業に及ぼす影響を容易に把握できます。進むべき最適な道を判断して、今後の競合を回避します。

両チームが共に依存関係を認識して取り組める独自のコミットメントワークフローによって依存関係を管理して、混乱や誤解の可能性を減らします。チーム全体とプログラム間のすべての依存関係を簡単に可視化して、ボトルネックとなる可能性のあるチームの依存関係の作業負荷をより詳細に理解し、リリースの予測可能性を高めます。

レポート

作業のステータスを、把握する必要のある組織内の人と共有するにはどうしたらよいでしょうか？

フィルターと表示設定によって計画を操作して、ステータスに有意義な更新を提供、話し合いで対立にフラグを設定、または長期的な計画を表示できます。

設定可能なダッシュボード（「ルーム」）では、一目で進行中の作業の現状を確認できます。個々のチームからエンタープライズレベルに至るまで、ルームは複数のレベルのレポートを提供して、ニーズの異なるユーザーが必要とする情報を確認できるようにします。

プログラムとポートフォリオのサポート

どのような規模で作業を可視化、計画、管理、追跡できますか？

アジャイル チームの作業の進捗をプログラムレベルまで可視化、計画、追跡できます。

財務上の影響を追跡して顧客価値の提供を証明し、リーンポートフォリオ管理を適用して、ポートフォリオや経営幹部のレベルまで戦略の意思統一を図ります。

Portfolio for Jira

Jira Align

製品ツアー	www.atlassian.com/portfolio	www.atlassian.com/align
利用可能な場所	Server、Data Center、Cloud*	クラウド (オンプレミスでも利用可能)
サポートされる方法論	スクラム、カンバン、カスタム	スクラム、カンバン、Scaled Agile Framework® (SAFe®)、リーンスタートアップ、Spotify、LeSS、バリュー エンジニアリング、Scrum @ Scale、ハイブリッドまたはカスタム フレームワーク
サポートされるチームの数	Portfolio for Jira は最大 20 のアジャイルチームが集まって連携する (一度に約 50 ~ 150 人) 際に最適です。	機能的には、Jira Align は組織内の複数のレベルで数百数千のユーザーをサポートできます。
サポートされる同時 Jira インスタンスの数	1	複数
他のアトラシアン製品と統合する	<p>チームレベルの作業の追跡**</p> <p>Jira Software Server、Jira Software データセンター</p> <p>共有 (Sharing)</p> <p>Confluence Server、Confluence Data Center</p>	<p>チームレベルの作業の追跡</p> <p>Jira Software Server、Jira Software Data Center、Jira Software Cloud</p>
ロード制限	ロード制限によって、計画が大きくなりすぎてパフォーマンスが低下しないようにします。現在の制限に関する詳細については、 こちら をご確認ください。	無制限
権限	<p>独自のユーザー権限を設定して、ポートフォリオ計画へのアクセスと変更を加える権限を管理できます。詳細はこちらをご確認ください。</p> <p>* この比較は Portfolio for Jira Server と Data Center 3.x で利用可能な機能のみに重点を置いています。</p> <p>** ホスト製品のデプロイはアプリのデプロイと一致する必要があります。</p>	<p>役割に基づく権限セットによって、ユーザーをチームの役割に割り当てます。それぞれの役割には異なるアクセスレベルがあります。詳細はこちらをご確認ください。</p>

Portfolio for Jira

Jira Align

作業を可視化する

個人レベル		
チームレベル		
多くのチームからなるチーム (プログラムレベル)		
チームのネットワーク (ポートフォリオレベル)		

作業を計画する

ロードマップ作成		
将来の作業の計画/日付を設定する		
計画を最新の状態に保つ		
変更による影響を実証		
チーム管理		
キャパシティ計画		
作業を四半期ごとのイベントに分割		

進捗の追跡

個人の作業項目 (例: ストーリーまたはエピック)		
柔軟な階層 (例: エピック上に機能またはオブジェクトを追加)		
リリース管理		
スケジュールどおりに作業		
リスクの管理		
進捗指標		

Portfolio for Jira

Jira Align

	Portfolio for Jira	Jira Align
依存関係を管理		
個人間		
チーム間		
多くのチームからなるチーム間		
レポート		
共有 (Sharing)		
API		
ダッシュボードの設定		
ビジネス インテリジェンス/分析		
データ エクスポート		
サードパーティとの統合		
ポートフォリオ管理		
ポートフォリオ管理サポート		
リーン原則サポート		
戦略的な成功指標 <small>(例: OKR、KPI)</small>		
方向転換/継続のガイダンス		
リーン予算編成と動的投資		
収益増加の測定、コスト削減、 ROI の証明		

戦略的整合性

- 戦略的目標をチームに示す
- 作業をビジネス戦略にマッピングする
- デリバリー チームのスケジュールを
ビジネスのスケジュールにマッピングする
- 一般的な命名規則を使用する
- 財務を作業に関連付ける
- 作業を作成、管理、OKR にマッピングする



アトラシアンで大規模アジャイルを実現

アジャイルを実現するための取り組みは常に進行しています。アトラシアンがそれぞれの段階でお客様をサポートする方法をご覧ください。

[詳細を見る](#)

